



本社工場外観

- 本社所在地：埼玉県川越市芳野台1-103-47
- 事業概要：歯車・機械加工部品の製造
- 常時使用する従業員：34名
（2025年10月期）
- 現在の売上高：12億円
（2025年10月期）
- 法人番号：1030001054941
- Web：https://dc-tokiwa.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
横山 謙一

次世代モビリティを切り拓き、輝く未来を創る

四輪の頂点・F1、二輪の頂点・MotoGP。妥協が許されない世界最高峰のレースの現場で、常磐は半世紀にわたり技術を鍛えてきました。「素材から完成品までの一気通貫加工」と歯車切削工具の内製化は、そこで培われた、常磐にしかない武器です。EV化という百年に一度の変革期は、この技術を次世代モビリティやロボット、航空宇宙分野へ広げる好機です。3代目としてこの会社を託された私は、新工場建設と自動化投資によって技術を仕組みとして次代へ確実に継承し、社員の待遇向上と地域雇用の拡大を実現しながら、売上高100億円企業へと必ず導きます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

試作・レース用部品（多品種少量）のスペシャリストとして、①1社依存からの脱却（四輪・二輪メーカーへの取引拡大、既に引き合いあり）、②2028年の新工場建設・最先端設備導入による少量多品種対応力の拡張、③2031年のフィジカルAI（ロボット関節部品等）分野への参入を進め、④2032年の航空宇宙関連部品分野への参入、2037年に売上高100億円の達成を目指します。

課題

- ①「少量多品種・試作」に特化したポジションを堅持しながら、自動車・航空宇宙・ロボット等の複数分野へ同時対応できる生産キャパシティの拡張
- ②属人化した歯切り・仕上げ技術の標準化とデジタル承継（技術者の高齢化・人手不足への対応）
- ③少量多品種のスペシャリストであり続けるための高度な技術者の確保・育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

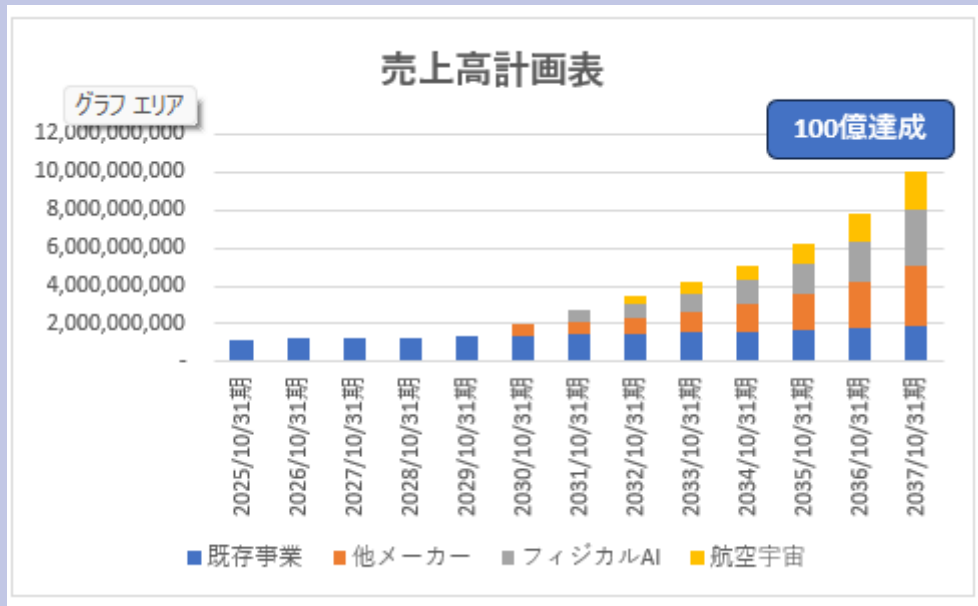
①現工場は床耐荷重の制約により最先端の歯車加工設備を導入できないため、2028年に新工場を建替え建設し、試作・レース用部品（多品種少量）における対応力とキャパシティを飛躍的に強化する。②歯車切削工具の内製化をさらに高度化し、業界最速水準（約2週間）の短納期で差別化する。③高付加価値化を武器に1社依存から脱却し、四輪・二輪メーカーへの直接アプローチを本格化する。④2031年、フィジカルAI（ロボット関節部品等）分野へ参入し、新たな収益源を獲得する。⑤2032年、航空宇宙関連部品分野へ参入し、新規事業の柱を確立する。

実施体制

- 代表取締役社長 横山謙一が陣頭指揮を執り、ベテラン技能者と若手技術者をペアリングする社内マイスター制度のもと、匠の技をデータベース化し、少量多品種・技術承継を推進
- レース部品開発で培った圧倒的な精度とスピードの実績を営業の武器に、新分野開拓チームが成長手段として予定している新分野への参入を個別に推進
- 川越本社・栃木両工場で歯車切削工具の内製ノウハウを共有するとともに、各取引先・地元自治体、業界団体と連携し、設備投資と人材採用を一体的に推進

売上高100億円実現の目標と具体的な成長戦略

売上高100億円実現に向けた目標



売上高100億円実現に向けた具体的な成長戦略

1.自動車取引の多様化

戦略：四輪・二輪の試作部品・レース部品・サービスパーツを手掛けてきた実績を土台に、切削精度・面粗度の向上による高付加価値化と、歯車切削工具の内製化による短納期対応力を武器に、四輪・二輪メーカーへの直接アプローチを本格化する。

収益への貢献イメージ：量産部品ではなく、試作・開発段階の高精度部品という常磐の強みが最も活きる領域へのアプローチであるため、既存の技術・設備を大きく変えずに顧客基盤を広げられる、実現性の高い成長ドライバー。

2.フィジカルAI（ロボティクス）分野への参入（2031年）

戦略：ロボットの関節部品等、高精度な歯車・金属加工技術を活かせる新市場。自動車関連に続く「成長の柱」として2030年の参入を計画する。

収益への貢献イメージ：ロボティクス市場の立ち上がりに合わせて参入することで、自動車・航空宇宙で先行構築した高付加価値・多品種少量のポジションをそのまま横展開できる。

3.航空宇宙関連部品分野への参入（2032年）

戦略：フィジカルAI・航空宇宙分野は、既存の高精度歯車・金属加工技術がそのまま応用できる新市場としてSWOT分析でも機会に位置づけられている。参入にはAS9100等の品質マネジメントシステム認証取得が想定され、助走期（2025～2028年）のうちに準備を進める。

収益への貢献イメージ：航空宇宙分野は多品種少量・高精度・高単価という常磐の得意領域と親和性が高く、量産化への転換を伴わずに高付加価値な売上を積み上げられる分野として位置づける。